

日野市長

古 賀 壮 志 様

提 言 書

日野市環境まちづくり委員会として、気候変動対策について、別記のとおり提言いたします。

令和7年12月16日

日野市環境まちづくり委員会 委員長

峯岸 弘行

これまでの、現状分析、先進自治体の取組視察、検証を踏まえて、当委員会では次の事項を提言する。

①食品ロスを減らす取組

《市の取組》

1. 「食品ロス減らす宣言」
2. マイクロバイオマス発電の導入
3. 生ごみ分別収集・資源化モデル事業実施、検証
4. 学校給食での食べ残しを減らすため給食時間の延長
5. 食育の推進（児童・生徒だけでなく、消費者への教育・食育）

《官民連携の取組》

1. フードドライブ回収拠点の増設（市役所、支所、交流センター、民間事業者等）
2. コンビニやパン屋などと連携した子ども食堂や貧困世帯への食料支援
3. 食品ロス削減をテーマにしたマルシェ等イベントの開催
4. 飲食店で食べ残し持ち帰り容器の活用と食べ残しの持ち帰りを支援
オリジナルステッカーの配布等
5. アプリを活用した食品ロス削減事業である TABETE※7 やタベスケ※8 の導入支援
6. これまで廃棄されていた食材を活用したアップサイクル商品の開発と支援
（ジャム、乾燥野菜、その他加工食品等を地元事業者と連携して作る=商工会との連携）
7. ダンボールコンポストの利用促進
8. 家庭からの廃油を航空燃料にリサイクルする取組の推進

②CO₂を出さない交通手段の充実

1. 電気自動車（EV）の活用
 - ・グリーンスローモビリティの導入
 - ・公共施設にEV充電設備の設置促進
 - ・公用車のEV化
2. デマンド交通の推進
3. 自転車等の活用促進、駐輪場の整備

※グリーンスローモビリティコース案

- ・観光集客ルート（日野駅＝日野宿本陣＝新選組のふるさと歴史館＝万願寺駅）
- ・高齢者向けルート（高齢者向け施設＝スーパー（みなみの恵みを含む）＝市立病院）
- ・公共施設連携型ルート（市役所＝図書館＝体育館など）
（このバスに乗ること自体もアトラクションの一部のような位置づけで観光に活用する）

以上、検討を求めて提言とする。